

所属・氏名（ 看護学部 看護学科 氏名：宮本 純子 ）

著書、学術論文等の名称		単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1	(著書) 学校保健〔第二版〕	共著	2025 年 5 月	ミネルヴァ書房	災害時の養護教諭の役割について執筆した。 ＜森田健宏, 田爪宏二, 柳園順子他, <u>宮本純子</u> ＞
2	(学術論文) COVID-19 軽症感染者の社会復帰に向けた支援ニーズ 軽症者等療養施設入所療養者への調査から－ 《筆頭論文》	共著	2024 年 12 月	日本災害看護学会誌 26 (2) 31 -41	軽症者宿泊療養施設を退所後の軽症感染者に調査を行った。後遺症への不安、誹謗中傷や職場復帰する際に受け入れられにくい問題を抱えており、就労・雇用に関連するものを含めた迅速な情報、相談窓口の提供、感染者の経験を活かす場作り、受け入れ側への教育・啓蒙の必要性が明らかになった。 ＜ <u>宮本純子</u> , 高田大樹, 牛尾裕子, 藤田さやか, 水川真理子＞
3	(学術論文) 国際緊急援助における医療チームの遺体管理体制についての考察	共著	2024 年 6 月	日本災害医学会誌, 29 (2) 104-109	WHO の EMT 国際認証を受けるには、最低技術基準を満たすことが求められている。JDR 医療チームでは被災国で適切な遺体管理ができるようガイドライン、標準手順書、様式の整備の改訂を行い、運用の検証、課題の抽出を行った。平時より EMT や関係諸国とのネットワークの中で体制を充実しつつ、派遣時には多くの EMT や機関と協働しつつ質の保証された遺体管理の実施が求められている。 ＜岡本美代子, <u>宮本純子</u> , 三浦由紀子, 南嶋里佳, 甲斐聡一郎, 稲葉基高, 久保達彦＞
4	(学術論文) COVID-19 軽症者等宿泊療養施設療養者を対象とした遠隔看護相談システムの構築	共著	2024 年 5 月	日本災害看護学会誌, 25 (3) 83-93	COVID-19 軽症療養者施設入所者に対し看護相談システムを構築した。クラウドコールセンターシステムを活用した電話相談と SNS 相談を組み合わせた方法は、相談対応者も各自の職場や自宅から対応することが可能である一方で、関係機関との連携と緊急時対応体制の確立が重要な取り組みであった。パンデミックにおける接触制限と感染者のプライバシー保護の観点から、遠隔相談システムは諸条件を満たした上で、感染者からの心身の健康面相談にタイムリーに対応できる新たな看護提供方法として提言できるものである。 ＜藤田さやか, <u>宮本純子</u> , 牛尾裕子, 水川真理子, 高田大樹＞
5	(学術論文) Community resilience of women in rural areas of Lempira in the Republic of Honduras 《筆頭論文》	共著	2023 年 12 月	Población y Salud en Mesoamérica21(2)	ホンジュラス共和国で、女性を対象にコミュニティレジリエンスに関する調査を実施。人々は自宅では備えをしていないが、リーダーがトレーニングを受けていることで備えができていと認識していた。コミュニティレジリエンスに対し、結束型ソーシャルキャピタルはマイナスに働き、橋渡し型ソーシャルキャピタルはプラスに働いた。初等教育修了者と未修了者との間でレジリエンスの差があったが、それ以上の学歴の人とは差がなかった。災害対応を考える上では、現地の文化を理解する必要がある。また、初等教育の重要性が明らかになった。 ＜ <u>Junko Miyamoto</u> , Minato Nakazawa＞
6	(学術論文) Communication for self-care and the role of a logbook on health risk during a flood disaster 《筆頭論文》	共著	2023 年 3 月	Health Emergency and Disaster Nursing 10 (1) 29-40	西日本豪雨災害で被災したログブックの利用者へ調査を実施。被災当初は目の前の出来事に対処することで精一杯だったが、被災後 2 ヶ月目は経験を振り返るターニングポイントになっていた。直面する問題についての情報共有が重要であり、ログブックの役割は 「振り返りに役立った」「心が安らいだ」「連絡に役立った」「季節の行事を思い出させてくれる」など、外部からの支援が困難な災害時であっても平常時に培ったセルフケアや地域社会とのつながりが不可欠であることが示唆された。 ＜ <u>Junko Miyamoto</u> , Noriko Hatakeyama, Sakiko Kanbara＞